

行政視察報告書

行政視察の結果について、下記のとおり報告します。

令和8年2月18日


光市議会議長 森戸 芳史 様

議員 小林 隆司

記

- 1 調査年月日 ①令和8年2月3日（火） 13:30～16:00
 ②令和8年2月4日（水） 9:30～12:30
- 2 調査市等 ①岡山県奈義町
 ②岡山県笠岡市
- 3 調査結果 別紙のとおり

調査結果①

日 時	令和 8 年 2 月 3 日 (火)、13 : 30~16 : 00	
調査市等	岡山県奈義町	
調査事項	少子化対策	
説明者	情報企画課 長畑 光洋氏	

<奈義町の概要>

奈義町は、岡山県北東部に位置し、鳥取県との県境に接する勝田郡の町です。町のシンボルである那岐山が北部にそびえ、豊かな自然に恵まれている。2026 年 1 月 1 日時点の推計人口は 5,112 人、面積は 69.52 平方キロメートル、人口密度は 73.5 人/平方キロメートル、平成 14 年の住民投票で合併しない単独町政を選択している。

<子育て応援宣言>

岡山県奈義町は、2012 年 4 月 1 日に「奈義町子育て応援宣言」を制定し、子どもたちが夢と希望を持ち健やかに育つ環境づくりを目指している。この宣言には、行政だけでなく、町民全体で子育てを支えるという強いメッセージが込められている。この宣言のもと、多岐にわたる支援策が展開されている。

<奈義町における合計特殊出生率>

奈義町の合計特殊出生率は、手厚い子育て支援策が展開されていることで、全国平均を大きく上回る高い水準を維持し、2019 年には 2.95 を記録し、「奇跡の町」として全国的に注目されている。しかしながら、コロナ禍を経て、本出生率は減少傾向を示している。

<多岐にわたる支援策>

下表のような経済的支援に加え、働く親への支援や子育て環境の整備など、多岐にわたる支援を展開することにより、切れ目のない子育て支援につなげている。

出産祝い金	お子様の誕生時に一律 10 万円を交付
在宅育児支援手当	満 7 ヶ月から満 4 歳まで、保育園に入園していない子どもを養育する保護者に月額 1 万 5 千円を支給
医療費	高校卒業までの医療費が無料
不妊治療・不育治療助成	不妊治療に年間最大 20 万円、不育治療に年間最大 30 万円を上限に通算 5 年間助成
予防接種助成	おたふくかぜは 1 歳児と年長の 2 回接種を全額、インフルエンザ予防接種は高校生までの費用の一部を助成
高校生への就学支援金	高校生 1 人につき年額 24 万円を 3 年間支給

小中学校	給食費の無償化と教材費の無償化を実施
ひとり親家庭支援	中学 3 年生までの子どもを養育するひとり親に「やすらぎ福祉年金」として年額 5 万 4 千円を交付、第 2 子以降は年額 2 万 7 千円が加算
多子世帯保育料軽減:	第 1 子の保育料は国基準の 55%に設定し、第 2 子半額、第 3 子以降無料。

地域と子育て拠点施設 なぎチャイルドホーム

**【子育ての心の支え】
なぎチャイルドホームとは？**

子育て世代が気軽に通える施設として開設しています。常駐する「子育てアドバイザー」に育児に関する相談のついでに、子どもの社会的経験の場となるような活動を行っています。そのほか、地域住民による子どもの一時的な預かりや、親子向けのイベントなども行っています。

「子育ての相談がしたい」「地域の方と交流したい」「子ども同士で遊ばせたい」など、ふらっと立ち寄れる心地よい場所です！

子育てアドバイザーの笑顔さん（左から2番目）と、スタッフの方

ちょっと子どもを預けたい時の一時保育「すまいる」

「病院に行く間、下の子を預かってほしい」「買い物に行く間だけ子どもを見てほしい」など、一時的に子どもを預かってほしい時に、子育て援助会員に依頼できる制度です。【なぎチャイルドホーム】以外に、援助会員の自宅で預かってもらうこともできます。

週4で通え、親同士で協力する保育活動「自主保育たけの子」

幼児期の子どもたちに「家庭的な雰囲気の中で育てほしい」という願いから始まった自主的な保育活動です。保護者と保育士が、毎週火～金曜に当番制で子どもたちの面倒をみながら、遊びや活動を行います。子どもだけでなく、親同士の交流の場にもなっています。

各種イベントや座談会も！

助産師や心理士などの講師を招いた座談会や、赤ちゃんを連れて参加できるリトミック、地域の高齢者が参加する三世交代交流会、休日の父親クラブなどのイベントを定期的で開催しています。

**町民同士で
支えあう
子育てサポート制度**

「なぎチャイルドホーム」子どもを預かる会員

親子で協力して作った扉を
楽しむ様子

P.18

地域内の需要と供給 しごとコンビニ事業

子育てしながら空いた時間に「ちょっとだけ働きたい！」
子連れでも働きたい！
自分の自由な時間を使って「ちょっとだけ、みんなと一緒に仕事をしたい！」

常勤で雇用するほどではないけど、繁忙期に「ちょっとだけ手伝って欲しい！」
朝来りや片づけなど、困ったときに「ちょっとだけ手助けして欲しい！」

「しごとコンビニ」事業

目的

- ①子育てしながらでも、就労できる仕組みや環境を整備する。
- ②シニア世代など、「時間に余裕のある人」「社会の役に立ちたい」と考える人らが、少しでも働くことができるようにする。
- ③一つの仕事を、みんなで「ワークシェア」することで、より多くの人が地域や社会に関われるような「総活躍のまち」をつくる。
- ④町の中にある仕事や、新しい仕事の受け皿づくりをすることで、新たな産業の創出や、働きやすい職場環境を作っていく。
- ⑤仕事を任せる側（事業主など）、業務の効率化を図る。

対象 子育て中の母親、なぎチャイルドホームの利用者、保育園・幼稚園・小・中・高校生の保護者、シニア世代など

実施主体 一般社団法人しごとえん（町民主体で法人化）

仕事の（例）

封かん・発送 PC入力 軽作業 型紙片付け 清掃 電話対応 検校 原簿集 案内 子育て講座

事業のしくみ

町の中の色々な仕事
しごとえん
業務請負
支払
発行者

P.19

<質疑>

Q1	2024年11月29日付で「奈義町子育て応援宣言」が行われたことで、奈義町の子育て支援が大きく前進し、出生率をはじめ、子ども達を取り巻く環境が改善された。一方、限られた財政の中で、なぜ、子育て支援に“力”を入れるようになったのか？
A1	子育てに注力することに至った要因は、人口減少を喰いとめるためである。一部の


	高齢者からは、「子育てに注力しすぎではないか」との声があがったが、「人口を維持・向上を図ることで、公共インフラ、行政サービスなどの維持につながる」と伝え、町民の理解は得られている。
Q2	2024年度の日本の合計特殊出生率は1.15%で、過去最低を大幅に更新する見込みの中で、奈義町は2.21%と高い数値を維持されている。今後の特殊出生率の見込みは？
A2	令和5年度の合計特殊出生率は1.8で、令和6年度は2.2である。コロナ禍以降、奈義町をはじめ、周辺市町でも出生率が減少傾向にあり、その要因は掴めていない。
Q3	なぎっ子こども園のような幼保連携型の認定こども園では、子どもの成長にとって大切な異年齢交流を様々な形で取り入れているが、具体的な取組とこれらの取組を通じて子ども達が習得できる力は？
A3	色々な行事（子どもの日、七夕など）を通じて、異年齢が関わる機会を積極的につくっている。また、異年齢が交流できる施設の構造になっている。これらの取組を通じて、子どもたちの自己肯定感・自己有用感・コミュニケーション能力の向上につながっている。

<所感>

奈義町の子育て支援は、経済的支援だけでなく、地域ぐるみで子育てを支える人的ネットワークを構築し、保護者の「安心感」を高めることに重点を置いている。これにより、安心して子育てができる環境が構築され、合計特殊出生率の向上に寄与しているものとする。光市においても、既に取り組んでいる施策に加え、地域ぐるみで子育てを支える人的ネットワークのさらなる強化が必要と感じた。



調査結果②

日 時	令和 8 年 2 月 4 日 (水)、9 : 30 ~ 12 : 30	
調査市等	岡山県笠岡市	
調査事項	廃校の利活用	
説明者	海の校舎 代表理事長 南 智之氏	

<笠岡市の概要>

岡山県笠岡市は、県南西部に位置し、温暖で災害が少ない気候が特徴である。山、海、島に囲まれた豊かな自然があり、歴史的・文化的な資源にも恵まれている。2026 年 1 月 1 日時点での推計人口は 41,703 人で、前年から 2.1%減少している。このまま人口減少が進むと、2040 年には約 3 万 4000 人、2060 年には約 2 万 2000 人まで減少する可能性がある。

<海の校舎>

- 岡山県笠岡市の旧大島東小学校と幼稚園舎を活用したシェアアトリエである。瀬戸内海を望むロケーションで、クリエイターたちが制作活動を行う拠点となっている。
- 海の校舎に入居しているクリエイターたちは、多岐にわたる分野で独自の創作活動や制作活動を行っている。様々な分野のクリエイターが集まることにより、交流から知識や技術のシェアが生まれている。
- 海の校舎の運営は、外部のシェアオフィス運営会社に業務委託をせず、自身の仕事を持つ入居者兼 NPO 理事が主な運営者となっていることが特徴である。業務の多い代表理事に対する報酬は発生している一方で、その他の運営メンバーはボランティアで業務を行っている。
- 運営資金は、主に賃貸料と視察料で賄われており、2024 年度の収入合計は約 1,020 万円で、支出合計は約 945 万円であった。
- 昔ながらの木造建設であることから、雨漏りや台風対策、シロアリをはじめとする害虫駆除などのハード面の管理が大きな負担になっている。また、将来修理が必要となり得る修繕金の確保ができていない。
- 地域交流と活性化を目的として、「クラフトマルシェうみの市」を定期的で開催している。海の校舎に入居するクリエイターや外部の作家、飲食店などを招き、個性豊かな作品の展示販売や飲食の提供が行われている。2023 年 4 月に開催された第 4 回うみの市では、来場者数 2,300 人、出店者数 66 社と大規模なイベントとなった。このように、地域住民の思い出の場所である廃校が再活用され、にぎわいの創出につながっている。また、クリエイターだけでなく、顧客や地域住民との交流の場が生まれることで、新しいコミュニティが形成されている。

■ 利用料金

以下が Wi-Fi代や電気代、駐車場代などが含まれた月額利用料金になります。

木造 1舎	校長室	¥36,300/月
	図書準備室	¥36,300/月
	その他各室	お問合せ、利用法による
木造 2舎	1教室(60㎡)	¥48,400/月
	半教室(30㎡)	¥30,250/月
	半教室シェア 2社まで(1社あたり)	¥17,330/月
鉄筋 3舎	半教室(31㎡)	¥38,500/月
	1教室(63㎡)	¥58,080/月
	特別教室(82㎡)	¥72,600/月
	準備室、パソコン室	¥36,300/月
	複数教室	お問合せ、利用法による

※税込、電気代、水道代、WiFi代 込み ※入居時に初期設備費用が月額料金1ヵ月分必要。

※最低入居期間 6ヶ月。

※エアコンや間仕切りなどの施設財産になる設備を新規に設置する場合、費用折半のB工事として設置。

※冬場の暖房にエアコンの利用は不可。ストーブは貸出有り、灯油は実費。

■ 2025年8月時点入居状況

現在、17社が入居しています。これまでに4社の退去がありました。

建物	階	入居者名	主な仕事内容	入居日
幼稚園	1F	SOUTHERN TREE	無垢木工家具・雑貨、まかないカレー	初期～
木造 2舎	1F	石田製帽	帽子と雑貨	初期～
		SIRUHA	布・革製品	初期～
		イトモノカラフル / itomonotooyatsu	編み物、刺繍	初期～
	2F	aukio	写真とフォトスタジオ	2023.1～
		タイラーデザイン事務所	グラフィック・WEBデザイン	初期～
		ぐるり舎	一級建築士事務所	2023.2～
		安沢有里	絵画制作	2021.10～
		b.vacances	アクセサリー	2022.8～
		MEDELL DESIGN	デニムアパレル	2021.10～
		RC 3舎	1F	J5-Stage
2F	どれい露月	土鈴	2024.1～	
	池田愛花里	油絵と小物雑貨	2023.12～	
	TAKIBI	美容師のアトリエサロン CATEICA	2024.3～	
	村田椅子製作所	椅子張り(オーダー製作/張替)	2023.9～	
	3F	陶芸作家 恒枝直豆	普段使いの器	2023.1～
Olushinne		ウクレレ製作	2023.1～	

< 質疑 >

Q1	海の校舎に入居するクリエイターに求める要件は？
A1	個人・法人問わず「ものづくり」を中心とした、一定の基準を満たした質の商品・サービス・作品を制作するクリエイターを対象としており、趣味でものづくりをする方は対象としていない。新たな入居者を決定する際には、理事会で決定している。
Q2	海の校舎の今後の展望は？
A2	海の校舎は、地域活性化の起爆剤として、今後も様々な取組を進める予定である。機能拡充の観点では、旧音楽室をコワーキングスペースとして整備し、クリエイター以外の一般の方への活用を促していく。地域貢献の観点では、ワークショップやマルシェを継続的に開催し、地域全体の活性化を図る。雇用の創出の観点では、レンタルスペースやコワーキングスペースの活用を通じて、雇用の創出につなげる。

<所感>

海の校舎には、様々な分野のクリエイターが集まることで、知識や技術のシェアが生まれていることから、事業の発展性を感じた。また、地域住民の思い出の場所である廃校が再活用され、にぎわいの創出につながっている。具体的には、クリエイターだけでなく、顧客や地域住民との交流の場が生まれることにより、新しいコミュニティが形成されている。これらのことをふまえ、本市の廃校についても、海の校舎のようなビジネスモデルを参考にしながら、再活用の調査・研究を進めていくことが必要と感じた。

